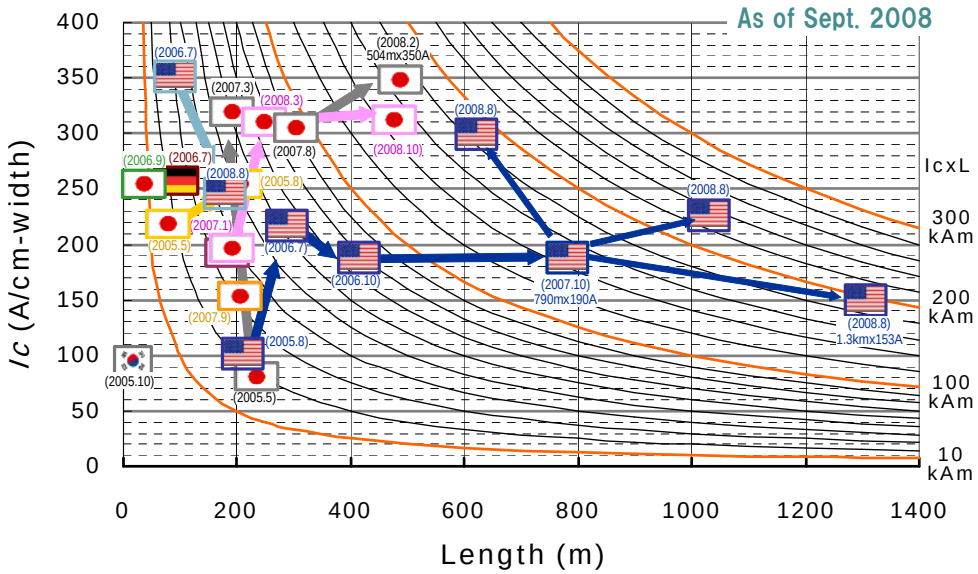
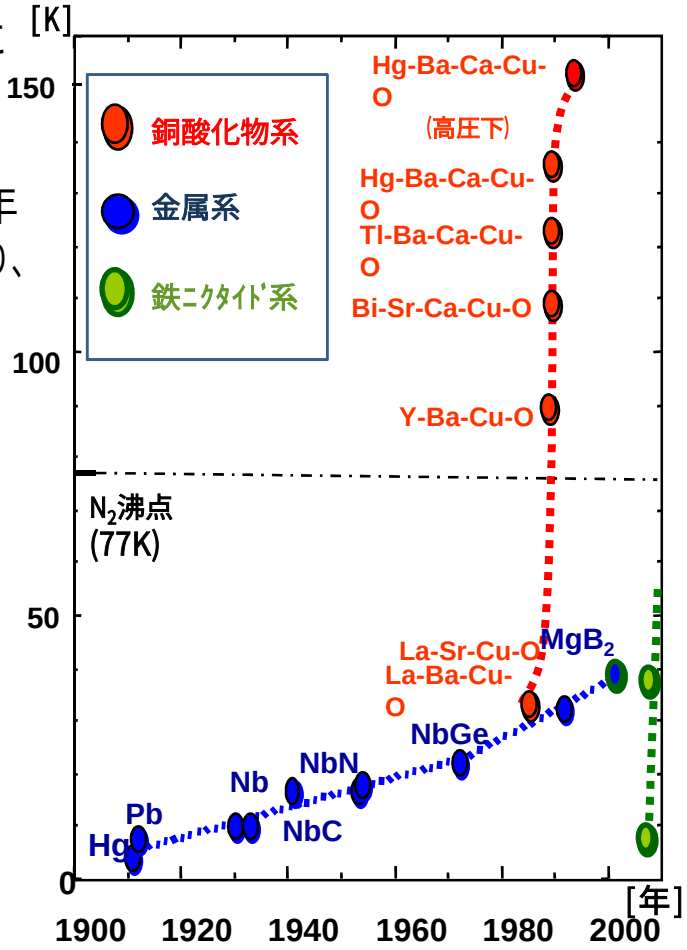
7－2．強い産業群をより強くする投資　事例②：超電導

- 超電導技術は、銅線コイル等を用いた従来の機器に比べ格段に低炭素･省エネに資する技術であり、我が国の強みである線材化等のプロセス技術により様々な分野での活用が期待されている。
- そうした中、我が国で発見された「鉄系超電導物質」は、その構造･特性が従来の超電導体とは大きく異なる未探索の分野であり、数千種類の新規超電導体が想定されるため、超電導の実用化に必要な77K（液体窒素温度）を超える新規超電導物質の探索が重要。

✓鉄系超電導物質は、中国、韓国、ドイツ等諸外国において活発に探索等が行われており、我が国でもいっそうの研究開発が必要。

✓一方、世界のイットリウム系超電導線材開発の状況を見ると、昨年2月に我が国が世界記録（350A×504m）を樹立したが、昨年8月に米国がこれを更新する等、我が国の優位性は揺らいでおり、いっそうの研究開発促進が必要。